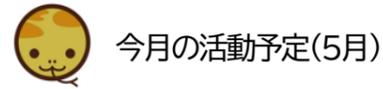


先月の活動(4月)

日本語教室 4/5 4/12 4/19 4/26(4回)
4/6(日) お花見 京都府立植物園
4/12(土) 会計監査(小春・内田幸・杉山美)
4/14(月) KIFA理事会(恩地)
4/19(土) KIFA総会(恩地)



今月の活動予定(5月)

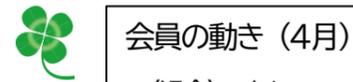
日本語教室 5/10(M) 5/17 5/24 5/31(4回)
5/18(日)オリーブ総会



参加人数(4月)

	4/5	4/12	4/19	4/26
学習者	16人	22人	15人	20人
スタッフ	18人	23人	18人	20人

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



会員の動き(4月)

〈退会〉なし
〈入会〉なし

多文化共生とイノベーションの発見

日時: 2025年 6月15日(日) 13:00-16:00

場所: アキバホール(アキバプラザ5階)
(東京都千代田区)

参加料: 無料

先着180名 オンライン参加できます。



編集後記 「晴れ、時々雨」という予報で決行したお花見でしたが、その通りに晴れて、昼食時にだけ雨が降り、また晴れました。雨を避けて入った植物園では、熱帯の植物を見て「なつかしー」の声も。中南米と東南アジアの植物が多かったですからね。集合に遅れて後から一人で駅員さんに聞きながら来た学習者さんも、よい日本語の練習になったようです。(フクイ)

多文化共生社会の構築に向けて、移民学、社会学、心理学、経済学、生態学などさまざまな分野の専門家と外国にルーツを持つゲストが一堂に会して、講演やパネルディスカッションの形で現状や未来について語ります。

13:35~ 基調講演 グラシア リューファーラー氏
「移民社会日本について」

13:55~ パネルディスカッション①
テーマ「暮らしと生活
— 私たちにとっての日本、そして世界」

14:55~ パネルディスカッション②
テーマ「仕事と経済
— 多様性とイノベーション」

※申込は下記URLを確認してください。
<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/inclusivesociety/2503001.html>

オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2025年 5月号
2025・5・18発行
第277号

新しいなかまを紹介します



ゲン・ティ・キム ズェン
(ベトナム)



ホアン・ティ・ガー
(ベトナム)



アブドゥミノフ・アブドゥサンドル
(ウズベキスタン)

中川先生のへんてこ日本語

彼／彼女、彼ら／彼女ら

学会誌に投稿された論文の査読をしている際、やたらと「彼ら／彼女ら」と3人称代名詞の使用されていることに不満を感じた。「○○の学習者が多数いる。彼らは・・・」といった具合に。論文や公的な文書、公的な場面などでは、「彼／彼女」の使用はふさわしくない。「○○の学習者が多数いる。その学習者は・・・」などとするのが好ましいとコメントを返して修正を求めたら、「これまでも普通に使ってきた。」と反論してきた。「彼／彼女」の使用は、明治になって西洋の小説などの翻訳の影響から生まれたもので、本来の日本語にはなかったものである」こと、「対象者を見下した言い方になる」ことを告げても、「そんな話は聞いたことはない。」と引き下がらない。投稿者の名前は伏せてあるために推測にしか過ぎないが、かなり論文内容からして著名な先生の方である。結局は、論文投稿を引き下げてきた。筆者自身、確かに「彼／彼女」が論文では使わない方がよい」とは聞いたことがない。しかし管見の限りでは、論文や新聞記事などで、「彼／彼女」の出でくるのは見たこともないし、ニュース番組でも聞いたことがない、総理がトランプ大統領のことを「彼」と表現したこともない。問題は、「見たことも聞いたこともない」というより、自らが学んでいく姿勢にある。言葉の習得には、経験的知識と使用習慣が必要で、文法的知識だけでは決してコミュニケーションできるような存在にならない。コミュニケーションの経験を重ね、ボトムアップ式にそこに存在する概念を見出し、自分のものとして獲得していく態度ではなからうか。

国際教育企画顧問 中川良雄





片山さんの先導
で出発！



花見は何回も行ったけど、植物園で見たのは初めて
でした。茶道も初めての経験でした。(チャム)

熱帯から冷帯にかけて沢山の植物
をリアルに感じる事が出来て勉強
にもなった。生徒の皆さんもリアル
な日本文化を感じる事となり、笑
顔で一杯でした。(片山健)

いろいろな国の植
物を見ました。感
動しました。賀茂川
でお茶をいただい
て京都の文化に触
れることができました。(中川智絵)



60年以上京都に住んでいま
した。植物園にあんなに桜があ
るとは知りませんでした。半木の
道もすてきでした。ブラジルの
串カツもおいしかった。
(堂腰青美)



いろんな国の花があつてけっこうきれいと思
いました。いろんなこともできてたのしかった
です。(新井ダニエレ)

楽しかったです。桜を初めて見ましたがきれい
でした。地下鉄も初めて乗りました。乗り方の
勉強になりました。これからもこんな旅行に行
きたいです。(ドーチャン・グエン・チュオン)



みんなで行きました。
とても楽しかったで
す。桜がきれい
でした。(ウ・カイタン)

オリーブお花見 at 京都植物園 2025.4.6



飛び石渡りも
また楽し♪

いい感じの植物園です。
桜を見るだけでなく
大温室でいろいろ熱帯
植物も見れて、なんか自
分の国になつかしい気
持ちになる。
(ラフマン スガンダ)



たのしかったです。木の下で
いっしょにご飯を食べました。
(エヴァン ウェリアヤナ)



桜がきれいでした。チューリップや緑の葉っぱ(睡蓮)の花が
きれいでした。(フェリペ ミカド パウラ クリスチーナ)

チューリップがきれいで大感激でした。
ブラジルにはありません。(ミカド チアゴ)



カメラ(棒)も残っていて桜が満開でお
花見が最高でした♪ (ディン・チャン)